

# イマドキの修学旅行

あなたは修学旅行にどんな思い出がありますか？

修学旅行には、少なくとも町内の小・中・高の400人前後の子どもたちが毎年出かけています。海外へ出かける高校や、驚くほど遠くに出かけている学校もあるでしょう。さて、うちの近所のあの子は今年、どこへ行って何をしてきたのかな？

5月22日朝6時20分。国道27号線沿いには元気な9人の小学校6年生、見送りのお母さんたち、先生たちがざらりと並んでいました。今日は気山小学校6年生9人の修学旅行。マイクロバスが、引率の先生3人を含む12人を乗せて出発しました。

最初の目的地「奈良公園」。

バスは、予定より20分遅れで到着。車中ぐっすり眠っていた子どもたちは、修学旅行生や観光客でごった返す南大門前で、ぼおっと突っ立っている。「大丈夫？ほら、しっかりしてよ！」担任の先生が苦笑いしながら急ぎ立てる。

子どもたちは、訪ねる建造物や歴史上の人物などをこの日のために調べ上げ、一人ひとりがガイドの役割を果たします。自分で調べたものにたどり着くと、学んだことをみんなに披露します。ぼおっとしている暇はないのです。走り出す子どもたち。追いかける先生方。一行は南大門・大仏殿を見学し、鏡池へ。



突然、持っていたリュックからはびびを取り出し、のぼり旗を準備し始める子どもたち。

また、この旅行はただ見学に来ただけではありません。町長から「子ども観光PR隊」に任命され、観光客の中で若狭町の観光PRをします。役場の観光交流課からも指導に来てもらい、事前勉強もしてきました。いざ、いざ！

緊張する様子はなく「全然平気！」と、3人1組になって観光客を呼び止める。

「すみません、お時間よろしいでしょうか？」「僕たちは福井県若狭町の気山小学校から来ました。どちらから来られましたか？」矢継ぎ早に話し出す子どもたちに、呼び止められた方は驚いている様子。それでも「静岡です」「横浜です」と答えてくれる。パンフレットを取り出し若狭町のPR。「若狭湾、三方五湖、瓜割の滝、自然がいっぱいで…是非遊びに来てください」。

相手の方からの質問には、時々口ごもりながらも何とか答えている。はちみつ梅1個と舞若開通記念ティッシュ、パンフレット一式を手渡し、お礼を言って終了。次の観光客をめがけてキョロキョロ。

PRを受けた方は「いいことですね。最初に観光PRをするって言うてくれないと、変なアンケートかと思っちゃうよ。興味あるところなんで、是非行ってみたい。素晴らしい活動だ。好感が持てるね」と、驚きつつも良い反応でした。

次は外国人の方に。初めの挨拶はバッチリOK。でも、次の質問が分からずに戸惑っている。校長先生に助けを求め、何となく話が通じたところで写真を撮ろうと誘われ、お二人の息子さんのカメラにみんなでおさまった。

観光PRに与えられた時間はわずか15分。あっという間に時間切れ。「もっと話したかった」と名残惜しい3人ですが、次の集合場所まで、奈良公園の中を独自で行動していきます。階段を上り下り、坂を上り道を曲がり、道を間違え戻って走る。30分後、集合場所にたどり着きました。



「静岡はお茶が有名ですね」「横浜は…」と、話しの切り口に。



「私、英語も話してみたいです」近くで並んで座っていた外国人のお母さん2人を見つけ、まっすぐに駆け寄って行く。



あらかじめ決めてあったポイントごとに写真を撮りながら、走る走る。

先生が作ったサイクリングコースを爽快に走る。



ここでももちろん自分たちガイドが活躍。



子どもたちはガイド用に事前にスポットについてまとめていました。



🐕 昼食はカレー。食べ終わると一路バスで明日香村へ。石舞台古墳横で自転車を借り、明日香村の中を一列に並んでサイクリング。教科書に出てくる蘇我入鹿、持統天皇などにゆかりの場所を訪ねます。

高い建物のない、穏やかな明日香村の風景に、一列になって走る元気な子どもたちの姿が印象的でした。

学校で、5月初旬に植えた古代米の種もみは、おみやげ屋さん「あすか野」の東口さんから頂いたもの。種もみのふるさとで記念撮影。訪ねた先の人とふれあうことが出来ました。

奈良最後の法隆寺の到着は入場時間ぎりぎりに。どうしても見たいと走りこんだ先は「夢殿」でした。

疲れも見せずに友達の説明を聞き子どもたちと、青空に伸びた八角形の屋根を、夕日が照らしていました。

走る！



40人乗りの船のほとんどはアジアからのお客さん。船のガイドのお兄さんが、英語や中国語を交えながら案内する姿に、「英語が喋れるっていいなあ」の声も。



夜は眺めるだけだった金龍ラーメンにも挑戦してみた。うまあ〜い。



ホテル出発前、やっぱり従業員さん相手に観光PR。「一晩お世話になりました」



夕食は…自分で焼くたこ焼き！子どもたちの夕食としては十分なごちそう。もうひっくり返せるかな。互いのお膳を見比べて楽しい会話が続きます。

🐕 大阪道頓堀沿いに建つ「大和屋本店」が一行の宿泊場所。こじんまりとしたきれいなホテルです。

夕食を食べた後は道頓堀界隈を散策し、法善寺の水かけ不動へ。着物姿の粋なお姉さんやおじさんに混じってお参りしました。

夜の道頓堀を川から眺める「とんぼりリパークルーズ」。色とりどりに光る街は、川から見上げる子どもたちの目にはどんなふうに映ったのでしょうか。

ホテルに戻るとお風呂タイム。部屋いっぱい敷かれた布団をまたぎながら大急ぎで準備。そうそう、家宛の絵はがきも書き上げなきゃ。

早朝、絵はがきをポストに投函して、再度道頓堀界隈の散策。夜とうってかわって人のまばらな朝の町。朝と夜、両方の顔を見て、道頓堀を出発しました。

2日目は、もちろん自分たちのガイドで造幣局、大阪城公園を見学した後、京橋の地上150mのレストランで大阪の街を見下ろしながらバイキング。最後はお楽しみのひらかたパーク。遊園地はやっぱり子どもたちの天国です。思いっきりはしゃいでバスで帰路につきました。

🐕 盛り沢山な行程に沿って走った2日間。少人数のクラスだからできたことも多かった修学旅行でしたが、精一杯調べたものを自分たちの足で探し実際に確認する。バスで連れ回されるだけの旅行より、はるかに大きな経験を持ち帰れたのではないのでしょうか。

学びを修める旅行。大人への第一歩を踏み出した小学校6年生の2日間。いかがでしたか？いまどきの修学旅行。

(取材：NPOわかさReco.)